

【お知らせ】 SSI 工法に 乾式吹付け が加わりました

1. はじめに

SSI 工法を展開する中で、湿式吹付けについて、次のご意見をいただいていたいました。

- 1 日で塗布厚 50～100mm 以上が求められる
- 作業ヤードが遠方にしか確保できないことがある
- 何らかの事情で施工が中断されることがある（その都度機材清掃が必要）

これらのご意見・ご要望を踏まえ、この課題を解決するため、乾式吹付けを導入しました。

2. SSI 工法の乾式吹付け

乾式吹付けは、粉体を圧縮空気で圧送し、吹付けノズル位置で水と混練して、吹き付ける施工方法です。湿式吹付けと比べ、吐出能力や 1 層の施工厚が大きく、吹付け施工性に優れています。

SSI 工法では、専用機材を用いることで乾式吹付けが可能となり、これにより施工厚や作業ヤード等の課題を解決できることを確認しました。よって、

2025 年 9 月より新たに、SSI 工法の乾式吹付けの展開を開始しました。

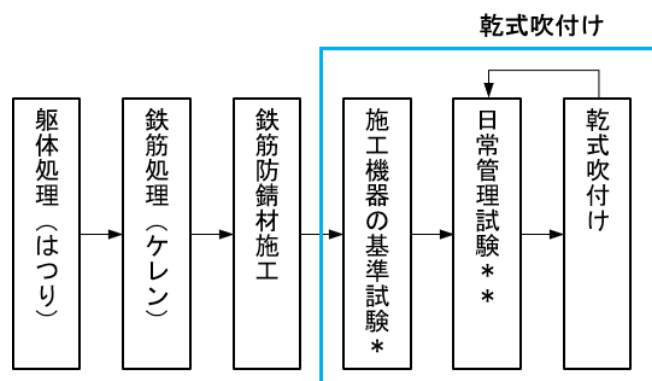
3. 特長

- (1) 1 回の吹付施工厚は 100mm 以上
- (2) ホース長 60～200m 程度の範囲内で作業ヤードと隔離がとれる
- (3) ノズル先で材料と水を混練するため、施工を中断できる

4. 使用資機材

- ・材料 遮塩モルタル「RP310DS」
- ・機械 SSI 工法 RP310DS 専用機械一式

5. 施工手順



* 工事毎に1回実施(分解した場合も同様)
** 施工日毎に1回実施

6. 性能

NEXCO 構造物施工管理要領「吹付け工法による断面修復の性能照査項目」に適合します。

断面の修復に要する性能

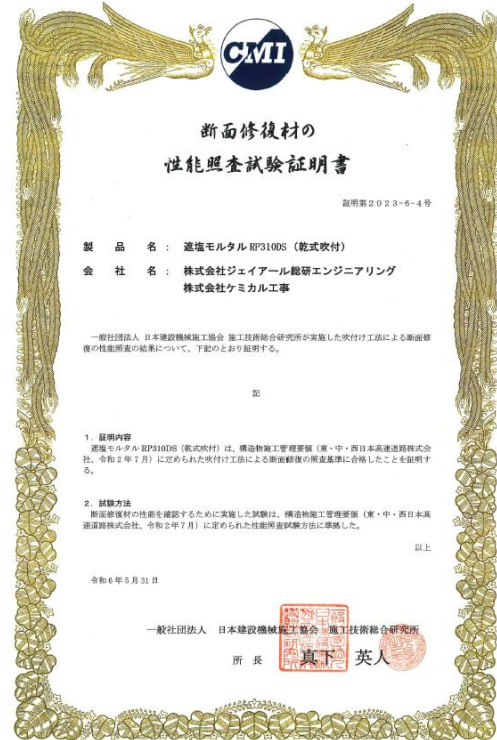
- ・ひび割れ抵抗性
- ・コンクリートとの付着性
- ・鉄筋背面への充填性
- ・寸法安定性
- ・熱膨張性

耐久性能に関わる性能

- ・中性化抵抗性
- ・凍結融解抵抗性
- ・遮塩性

力学的性能

- ・圧縮強度
- ・静弾性係数



7. 施工写真



吹付け（横向き）



仕上げ

*本件に関するお問合せは、事務局までご連絡ください。

事務局：株式会社ジェイアール総研エンジニアリング
塩害対策技術部（Tel 042-501-2605）